

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月07日

計画の名称	碧南市における下水道地震対策の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	碧南市												
計画の目標	下水道総合地震対策計画に基づいた、防災・減災対策を実施し、安全・安心な生活基盤を実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	41	A	40	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	2.43	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	人孔浮上防止対策実施率を0%（H30当初）から、2.7%（H31末）に増加させる。 重要な幹線等の人孔浮上防止対策率 人孔浮上防止対策実施済数（箇所） / 人孔浮上防止対策計画数（箇所）	0%	0%	3%
2	マンホールトイレ整備率を0%（H30当初）から、14.3%（H31末）に増加させる。 マンホールトイレの整備率 マンホールトイレ整備済数（箇所） / マンホールトイレ整備計画数（箇所）	0%	0%	14%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠(汚水)	新設	下水道総合地震対策(地震対策)	人孔浮上防止対策 N=20箇所	碧南市						20		策定済
		総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠(汚水)	新設	下水道総合地震対策(地震対策)	マンホールトイレ整備 N=1箇所	碧南市						20		策定済
		総合地震対策計画																	
												小計						40	
											合計						40		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 汚水）	新設	下水道総合地震対策（地 震対策）	マンホールトイレ用資器材 N＝一式	碧南市						1		策定済
		マンホールトイレ整備と合わせて関係資器材を整備することにより、避難所において安心して利用できる施設の確保を図る。																	
		総合地震対策計画																	
											小計						1		
											合計						1		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 碧南市開発水道部において実施	事後評価の実施時期 事業終了後、令和3年7月実施
	公表の方法 碧南市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な幹線等の人孔浮上対策により、災害時における機能確保が図られた。 ・マンホールトイレの整備により、災害時に緊急的に下水を排除できる人口の増加が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、下水道総合地震対策計画に基づいた、防災・減災対策を実施し、安全・安心な生活基盤を実現する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	人孔浮上防止対策率	
	最終目標値	3%
	最終実績値	3%
2	マンホールトイレ整備率	
	最終目標値	14%
	最終実績値	14%

